

< 2007年分 東京医科歯科大学産婦人科学教室業績 >

<原著・英文>

1. Ishikawa T, Harada T, Koi H, Kubota T, Hiroshi Azuma, Aso T : Identification of Arginase in Human Placental Villi. *Placenta* 28:133-138,2007
2. Ishikawa T, Harada T, Kubota T, Aso T : Testosterone Inhibits Matrix Metalloproteinase-1 Production in Human Endometrial Stromal Cells *In Vitro*. *Reproduction* 133:1233-1239,2007
3. Kubota T : Role of vasoactive substances on endometrial and ovarian function. *Reproductive Medicine and Biology*, Vol.6: 157~164, 2007
4. Hayashi K, Mizunuma H, Fujita T, Suzuki S, Imazeki S, Katanoda K, Matsumura Y, Kubota T, Aso T: Design of the Japan Nurses' Health Study: A Prospective Occupational Cohort Study of Women's Health in Japan, *Industrial Health* 2007, 45: 679-686, 2007
5. Imamura M, Waseda Y, Marinova GV, Ishibashi T, Obayashi S, Sasaki A, Nagai A, Azuma H. Alterations of NOS, arginase, and DDAH protein expression in rabbit cavernous tissue after administration of cigarette smoke extract. *Am J Physiol Regul Integr Comp Physiol*. 293(5):2081-9 2007.
6. Tanaka Y, Ishii H, Hiraoka M, Miyasaka N, Kuroiwa T, Hajjar KA, Nagaoka T, Duong TQ, Ohno K, Yoshida M: Efficacy of recombinant annexin 2 for fibrinolytic therapy in a rat embolic stroke model: A magnetic resonance imaging study, *Brain Research*. 1165. 135-143, 2007
7. Matsushita T, Murata H, Matsushima E, Sakata Y, Miyasaka N, Aso T: Emotional state and coping style among gynecologic patients undergoing surgery, *Psychiatry and clinical neuroscience*. 61, 84-93, 2007
8. Kuroiwa T, Miyasaka N, Feng Yu Z, Yamada I, Nakane M, Nagaoka T, Tamura A, Ohno K: Experimental ischemic brain edema: morphological and magnetic resonance imaging findings, *Neurosurgical focus*. 22: 1-8, 2007
9. Tsugata M: Prognostic significance of Apoptotic Activity and its Relationship with Morphological Characteristics of Clear Cell Ovarian Adenocarcinoma. *Journal of Medical and Dental Science* 54: 137-146, 2007

<原著・和文>

1. 栗原聡美、原田竜也、小坂元宏、久保田俊郎、麻生武志：未熟奇形腫手術後12年で成熟奇形腫を発症し、子宮内膜症病変を伴う腹膜神経膠腫を認めた一例。日本産科婦人科学会関東連合地方部会会報、44：47-51、2007
2. 山中政人、大橋まどか、大井理恵、小坂元宏、原田竜也、宮坂尚幸、尾林 聡、久保田俊郎：妊娠中イレウスを発症した卵巣癌手術・化学療法後の1例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌、56：115-118、2007
3. 古澤啓子、栗原聡美、鳥羽三佳代、石橋智子、清水康史、久保田俊郎：当院で経験し

た重症卵巣過剰刺激症候群の 1 例。日本産科婦人科学会東京地方部会会誌、56(2) : 127-130,2007

4. 尾林聡, 麻生武志 : ラロキシフェン使用時における骨量変化ならびにこれに伴う QOL (quality of life) score の推移に関する基礎的検討 Osteoporosis Japan 15 (2) : 270-273、2007
5. 大島乃里子, 谷口義実, 宮坂尚幸, 尾林聡, 清水康史, 久保田俊郎 : Docetaxel+CDDP(DP)療法が奏効した腹膜原発漿液性乳頭状腺癌の 1 例 日産婦東京地方部会会誌 56 (3) : 275-279、2007
6. 山本篤、金順熙、大井理恵、鳥羽美佳代、津堅美貴子、石橋智子、宮坂尚幸、久保田俊郎 : 妊娠経過中に胎盤内異常画像を認め、分娩後、癒着胎盤と判明した 1 症例、日本産科婦人科学会東京地方部会会誌 56(4) : 419-422、2007

<著書>

1. 久保田俊郎 : 卵巣機能障害。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p592-596 久保田俊郎 : 卵巣機能障害。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p592-696、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
2. 久保田俊郎 : 不妊症。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p597-600、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
3. 久保田俊郎 : 子宮筋腫。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p601-603、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
4. 久保田俊郎 : 子宮腺筋症。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p604-606、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
5. 小坂元宏 : 子宮頸癌。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p607-609、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
6. 小坂元宏 : 子宮体癌。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p610-612、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
7. 小坂元宏 : 卵巣癌。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、9 章 生殖機能、p613-616、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
8. 宮坂尚幸 : 妊娠高血圧症候群。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩-1、p698-702、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
9. 宮坂尚幸 : 胎児機能不全。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩-2、p703-706、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
10. 宮坂尚幸 : 習慣流産。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩-3、p707-708、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
11. 宮坂尚幸 : 早産。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩-4、p709-711、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
12. 宮坂尚幸 : 子宮内胎児発育遅延。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩-5、p712-714、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、

2007

13. 宮坂尚幸：産科 DIC。疾患からまとめた病態整理 FEIRST AID、13 章 妊娠と分娩—6、p715-717、奈良信雄編、メディカル・サイエンス・インターナショナル、2007
14. 久保田俊郎：卵管炎。今日の診断基準、15 章 妊産婦、婦人科疾患、p886-887、奈良信雄編、南江堂、2007
15. 久保田俊郎：卵巣腫瘍。今日の診断基準、15 章 妊産婦、婦人科疾患、p888-889、奈良信雄編、南江堂、2007
16. 麻生武志：『女性総合外来』 2007/11、「はじめに」 1. 女性医療と女性外来、p.2~9、麻生武志編、分光堂、東京 2007
17. 久保田俊郎：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」：1. 月経異常、p.16~23、麻生武志編、分光堂、東京 2007
18. 原田竜也：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」：6. 膣分泌物異常、p.42~46、麻生武志編、分光堂、東京 2007
19. 谷口義実：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」 7. 乳房に関連する症状、p.47~49、麻生武志編、分光堂、東京 2007
20. 谷口義実：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」 8. 肩こり、p.50~53、麻生武志編、分光堂、東京 2007
21. 尾林聰：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」、9. しびれ・感覚障害、p.54~57、麻生武志編、分光堂、東京 2007
22. 榎本直美、別府正志：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章、10. 疲れやすい、p.58~61、麻生武志編、分光堂、東京 2007
23. 尾林聰：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」、12. ほてり・のぼせ・発汗・冷え、p.68~72、麻生武志編、分光堂、東京 2007
24. 宮坂尚幸：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」、15. 気がしずむ、イライラ、p.84~89、麻生武志編、分光堂、東京 2007
25. 石橋智子、増田 均：『女性総合外来』、2007/11、第 1 章「女性外来で対象とする症状」、21. 排尿障害と膣の症状、p.126 -129、麻生武志編、分光堂、東京 2007
26. 田島麻記子：『女性総合外来』、2007/11、第 2 章「女性外来で行う検査」：1. バイタルサイン（脈拍・血圧・体重・身長） p.136~138、麻生武志編、分光堂、東京 2007
27. 増田美香子：『女性総合外来』、2007/11、第 2 章「女性外来で行う検査」：5. 子宮・卵巣の検査、p.160~164、麻生武志編、分光堂、東京 2007
28. 尾林聰：『女性総合外来』、2007/11、第 2 章「女性外来で行う検査」：6. 更年期障害と QOL の評価法（指数・スコア）、p.165~168、麻生武志編、分光堂、東京 2007
29. 谷口義実：『女性総合外来』、2007/11、第 2 章「女性外来で行う検査」：7. うつ症状評価方法、p.169~172、麻生武志編、分光堂、東京 2007
30. 若菜公雄：『女性総合外来』、2007/11、第 3 章「女性外来で対象とする疾患」：8. 膠原病（シェーグレン症候群・RA・SLE）、p.223~226、麻生武志編、分光堂、東京 2007
31. 久保田俊郎：『女性総合外来』、2007/11、第 3 章「女性外来で対象とする疾患」：9. 甲状腺疾患、p.227~231、麻生武志編、分光堂、東京 2007

32. 久保田俊郎：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」：10. 痛風、p.232~233、麻生武志編、分光堂、東京 2007
33. 清水康史：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」：13. 子宮の疾患、p.248~252、麻生武志編、分光堂、東京 2007
34. 原田竜也：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」：14. 子宮内膜症・子宮腺筋症、p.253~258、麻生武志編、分光堂、東京 2007
35. 尾林聰：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」19. 更年期障害・症状、p.281~285、麻生武志編、分光堂、東京 2007
36. 谷口義実：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」21. 月経異常の原因となる疾患と病態、p.292~296、麻生武志編、分光堂、東京 2007
37. 清水康史：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」22. 不妊、p.297~302、麻生武志編、分光堂、東京 2007
38. 宮坂尚幸：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」23. 妊娠とその異常、p.303~310、麻生武志編、分光堂、東京 2007
39. 原田竜也：『女性総合外来』、2007/11、第3章「女性外来で対象とする疾患」24. 性感染症（STD）、p.311~316、麻生武志編、分光堂、東京 2007
40. 清水康史：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：2. GnRHアナログ製剤、p.323~325、麻生武志編、分光堂、東京 2007
41. 尾林聰：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：3. ホルモン補充療法で用いる製剤、p.326~330、麻生武志編、分光堂、東京 2007
42. 久保田俊郎：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：4. 経口避妊薬（ピル）：OC、p.331~334、麻生武志編、分光堂、東京 2007
43. 宮坂尚幸：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：7. 高脂血症、p.343~346、麻生武志編、分光堂、東京 2007
44. 平田美佐子：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：8. 骨粗鬆症治療薬、p.347~350、麻生武志編、分光堂、東京 2007
45. 原田竜也：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：9. 月経困難症・月経痛治療薬、p.351~354、麻生武志編、分光堂、東京 2007
46. 田島麻記子：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：11. 頭痛治療薬、p.357~359、麻生武志編、分光堂、東京 2007
47. 石橋智子、藍 真澄：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」、13. 降圧剤、p.369-371、麻生武志編、分光堂、東京 2007
48. 谷口義実：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：14. 抗うつ剤・抗不安剤、p.372~374、麻生武志編、分光堂、東京 2007
49. 若菜公雄：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：18. 排尿障害治療薬、p.382~384、麻生武志編、分光堂、東京 2007
50. 石川智則：『女性総合外来』、2007/11、第4章「女性外来で使用する薬剤」：19. P.385~388、麻生武志編、分光堂、東京 2007
51. 清水康史、久保田俊郎. 体外受精、ICSIの適応. よくわかる臨床不妊症学. P118-124.

中外医学社. 東京. 2007.

52. 久保田俊郎、第Ⅲ部 疾患別に有用な検査、42.産婦人科疾患、エストロゲン、黄体ホルモン(プロゲステロン)、性腺刺激ホルモン(ゴナドトロピン)、プロラクチン(PRL)、ヒト絨毛性性腺刺激ホルモン(hCG)、日本薬学会編「知っておきたい臨床検査値」東京化学同人、p.166~168、2007/12

<総説>

1. 久保田俊郎：中枢内分泌の最新知見とその異常「Sheehan 症候群」。74 (8) : 945-949、2007
2. 久保田俊郎：血管作動性生理活性物質の女性生殖機能に果たす役割。HUJI Infertility News、FUJI Infertility & Menopause News 委員会編集、(7) 2007.8
3. 石川智則、久保田俊郎：3. 月経不順の管理、産婦人科外来マニュアル、産科と婦人科 74(11) : 1346-1349、2007
4. 宮下進、久保田俊郎：特集 妊娠・分娩と臨床検査、2. 妊娠中・後期の超音波検査、Medical Technology 35 (10) : 1009~1020 No.10、2007
5. 久保田俊郎：「更年期障害を楽にする最先端の名医 28 人一定説『ホルモン療法が乳がんを増やす』は間違いだった!」、女性自身 2007/12/11 号
6. 清水康史、久保田俊郎. 思春期早発症. 産婦人科の実際. 56 : 1605-1606、2007
7. 尾林聡, 久保田俊郎: 更年期の女性医学 骨粗鬆症治療薬とその使い分け 産婦の世界 59(9) : 829-836、2007

<学会発表・国際>

1. S. Obayashi, M. Akiyoshi, T. Ishibashi, T. Kubota. Evaluation of CAVI for management of atherosclerosis in postmenopausal women. 3rd Science meeting of Asia Pacific Menopause Federation, Taipei, China, (2007.3)
2. Marinova GV, Obayashi S, Ishibashi T, Hirata M, Azuma H. Expression of arginase I and II in endothelial cells and vascular smooth muscle cells of human uterine arteries. Journal of Pharmacological Sciences. [Meeting Abstract]. 2007; 103: 246P-246P. The 80th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society, Nagoya, Japan, March 2007
3. Marinova GV, Obayashi S, Ishibashi T, Hirata M, Azuma H : Expression of arginase I and II in endothelial cells and vascular smooth muscle cells of premenopausal human uterine arteries. 第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-IS-102(p796)、京都、2007.4
4. Obayashi S, Kato K, Akiyoshi M, Ishibashi T, Kubota T : Translational Demand of Psychological Intervention in Japanese Peri-Menopausal Women. 第 15 回国際女性心身医学会学術集会、P-70(p176)、京都、2007.5
5. Miyasaka N, Fuse Y, Kubota T: Change in Arterial Stiffness and Autonomic Nervous Function Throughout Uncomplicated Pregnancies, 第 20 回アジア・オセア

ニア産婦人科学会、於)京王プラザホテル 東京、P.2-2 2007/9

6. Iwata M, Shimizu Y, Harada T, Ishikawa T, Miyasaka N, Obayashi S, Kubota T: Analysis of Factors Influencing Pregnancy Rates of Intrauterine Insemination (IUI), 第 20 回アジア・オセアニア産婦人科学会、於)京王プラザホテル 東京、P.2-110, 2007/9
7. Ishikawa T, Harada T, Kubota T: Role of Arginase in Bewo Cells, A Human Trophoblastic Cell, 第 20 回アジア・オセアニア産婦人科学会、於)京王プラザホテル 東京、P.2-129 2007/9
8. Oshima N, Obayashi S, Kato K, Akiyoshi M, Ishibashi T, Kubota T: Comparison Between CAVI and PWV as Estimating Tool of Atherosclerosis in Apanese Women, 第 20 回アジア・オセアニア産婦人科学会、於)京王プラザホテル 東京、P.2-151 2007/9
9. Obayashi S, Kato K, Akiyoshi M, Kubota T : Comparison of PWv and CAVI as a way to assess arterial stiffness in Japanese women. 18th North American Menopause Society annual meeting, Dallas, USA (2007.10)
10. Ishikawa T, Shimizu Y, Harada T, Kubota T : Role of Arginase in Bewo Cells, A Human Trophoblastic Cells American Society for Reproductive Medicine 63rd Annual Meeting, October 13-17, 2007, The Washington Convention Center, Washington, D.C.

<学会発表・国内>

1. 尾林聡：更年期に関するアンケート調査報告 上越市まちの保健室講演 2007.1
2. 古澤啓子、栗原聡美、鳥羽三佳代、石橋智子、清水康史、久保田俊郎：当院で経験した重症卵巣過剰刺激症候群の 1 例。第 34 1 回日本産科婦人科学会例会、# 1、東京、2007.02
3. 石川智則、清水康史、原田竜也、久保田俊郎：不妊症で腹腔鏡を施行した症例の予後に関する検討。第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-359(p468)、京都、2007.4
4. 岩田未菜、清水康史、原田竜也、石川智則、宮坂尚幸、尾林 聡、久保田俊郎：当院における配偶者間人工授精 (AIH) の治療成績。第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-385(p477)、京都、2007.4
5. 宮坂尚幸、久保田俊郎：MRI によるラット脳機能画像一周産期脳障害の病態解明の試み。第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-486(p510)、京都、2007.4
6. 尾林 聡、加藤清子、秋吉美穂子、石橋智子、久保田俊郎：CAVI および PWv 値における血圧変動の影響に関する検討。第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-637(p561)、京都、2007.4
7. 秋吉美穂子、加藤清子、宮坂尚幸、尾林 聡、久保田俊郎：中高年女性の自律神経機能に関する研究。第 59 回日本産科婦人科学会学術講演会、P1-640(p562)、京都、2007.4
8. 鳥羽三佳代、秋吉美穂子、石橋智子、尾林 聡、久保田俊郎、麻生武志：最近 10 年間の更年期女性の意識・社会的背景の変化について。第 59 回日本産科婦人科学術講演会、

P1-642(p562)、京都、2007.4

9. 若林 晶、岡田智志、三島みさ子、尾崎喜一、水谷勝美：子宮頸部悪性黒色腫の1例。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-60(p583)、京都、2007.4
10. 谷口義実、久保田俊郎：腹壁腹腔鏡手術創に2回に亘り再発をきたした卵巣癌の1例。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-107(p599)、京都、2007.4
11. 栗原聡美、宮坂尚幸、久保田俊郎：FDG[18F-fluoro-2-deoxyglucose]-PETにて強い集積を示した卵巣成熟奇形腫の一例。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-112(p601)、京都、2007.4
12. 北野麻衣子、石川智則、若菜公雄、砂倉麻央、田島麻記子、小坂元宏、久保田俊郎、津堅美貴子：女性生殖器原発移行上皮癌の二例。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-166(p619)、京都、2007.4
13. 大井理恵、清水康史、久保田俊郎：母体梅毒感染による胎児水腫・子宮内胎児死亡の1症例。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-491(p727)、京都、2007.4
14. 石橋智子、秋吉美穂子、加藤清子、尾林 聡、久保田俊郎：尿失禁に影響する諸因子に関する検討。第59回日本産科婦人科学会学術講演会、P2-536(p742)、京都、2007.4
15. 久保田俊郎：第265回青森県臨床産婦人科医会、「知っておきたい子宮内膜症のトピックス」、於) 青森国際ホテル、2007/4/21
16. 大島乃里子、谷口義実、若林 晶、宮坂尚幸、尾林 聡、清水康史、久保田俊郎：Docetaxel-CDDP(DP)療法が奏効した腹膜原発漿液性乳頭状腺癌の1例。第342回日本産科婦人科学会東京地方部会例会、#1、東京、2007.5
17. 仁平光彦、尾林 聡、大井理恵、鳥羽三佳代、石橋智子、若林 晶、清水康史、久保田俊郎：当院におけるERセンター開設後の産婦人科救急について。第113回日本産科婦人科学会関東連合地方部会総会、#155、東京、2007.6
18. 尾林聡、寺内公一、久保田俊郎、シンポジウム3：骨粗鬆症診療の現況と対策 骨粗鬆症治療薬剤選択とQOLに関する検討 第32回 日本外科系連合学会学術集会 東京(2007.6)
19. 久保田俊郎：第4回土浦協同病院OB合同セミナー、「子宮内膜症の病態とその管理法のキーポイント」、於) ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ、2007/6/27
20. 鳥羽三佳代：子宮内膜間質結節として経過観察中に再燃したと考えられる低悪性度子宮内膜間質肉腫の1例。第42回日本婦人科腫瘍学会学術集会、p1-9、東京、2007.6
21. 若林 晶：AFP上昇を示した異所性成分を伴う卵巣低分化型Sertoli-Leydig cell tumorの1例。第42回日本婦人科腫瘍学会学術集会、CP3-1、東京、2007.6
22. 久保田俊郎：東京医科大学産科婦人科学教室夏季合同集段階、「子宮内膜症の病態と最近のトピックス」、於) 東京医科大学病院教育棟5階、2007/7/21
23. 岩田未菜、清水康史、原田竜也、石川智則、宮坂尚幸、尾林聡、久保田俊郎：当院における配偶者間人工授精(AIH)の治療成績。第25回日本受精着床学会総会・学術講演会、#197、仙台、2007.8
24. 久保田俊郎：働く女性の支援セミナー、「いきいき更年期の過ごし方」、於) 女性と仕事の未来館、2007/9/08

25. 久保田俊郎： 第 36 回東総産婦人科医会講演会、「子宮内膜症を考えるー最近のトピックス」、於) ヒューマンプラザ黄鶴、2007/9/14
26. 山本篤 金順熙、大井理恵、鳥羽三佳代、石橋智子、宮坂尚幸、久保田俊郎：妊娠経過中に胎盤内異常画像を認め、分娩後癒着胎盤と判明した 1 例、第 343 回、日本産科婦人科学会東京地方部会例会、東京、2007/9/15 #8
27. 久保田俊郎： 第 42 回徳島不妊・内分泌研究会、子宮内膜症を考えるー最近のトピックス」、於) ウェルシティー徳島、2007/9/27
28. 久保田俊郎： 江戸川区/江東・千葉西ブロック産婦人科医合同卒後研修会、「子宮内膜症治療に関する最近の動向について」、於) 江戸川区医師会館 3 階会議室、2007/10/10
29. 久保田俊郎： 子宮内膜症セミナー、「閉経期における子宮内膜症の問題点」、於) ベルサール西新宿、2007/20/13
30. 久保田俊郎： 東京医科歯科大学お茶の水祭公開模擬授業、「こんにちは赤ちゃんー赤ちゃん誕生の感動と神秘ー」、於) 東京医科歯科大学歯学部一番教室、2007/10/14
31. 久保田俊郎： 第 23 回東京成長ホルモン成長因子セミナー、「低ゴナドトロピン性排卵障害について」、於) 大日本住友製薬東京支社 2 階会議室、2007/10/26
32. 久保田俊郎： 草加市立病院病診連携講演会、「わが国の周産期医療の現況と展望」、於) 草加市立病院 3 階講堂、2007/11/13
33. 尾林聰、加藤清子、秋吉美穂子、久保田俊郎：動脈硬化の指標としての CAVI および PWv と血圧変動に関する検討；第 2 2 回日本更年期医学学会学術集会 於) 大手町サンケイプラザ 2007/11/17
34. 林邦彦、水沼英樹、藤田利治、鈴木庄亮、今関節子、片野田耕太、李廷秀、松村康弘、久保田俊郎、麻生武志： NHS の研究デザインとベースライン調査-対象者募集を終了して：第 22 回日本更年期医学学会集会 2007/11/17
35. 藤田利治、松村康弘、片野田耕太、李廷秀、久保田俊郎、水沼英樹、麻生武志、林邦彦： 女性看護職における疾病の既往状況：Japan Nurse's Health Study、第 22 回日本更年期医学学会集会 2007/11/17
36. 片野田耕太、藤田利治、松村康弘、李廷秀、久保田俊郎、水沼英樹、麻生武志： 女性看護職におけるホルモン補充療法使用状況と使用者の属性：Japan Nurse's Health Study、第 22 回日本更年期医学学会集会 2007/11/17
37. 秋吉美穂子、加藤清子、尾林聰、久保田俊郎： 当更年期外来におけるウェスト周囲径計測の現況報告、第 2 2 回日本更年期医学学会学術集会 於) 大手町サンケイプラザ 2007/11/17
38. 原田竜也、石川智則、田島麻記子、清水康史、久保田俊郎： ヒト卵巣顆粒膜細胞における Heme Oxygenase の発現とその役割についての検討、平成 1 9 年度日本生殖医学学会 第 5 2 回総会 p.226 秋田県民館 2007/10/25
39. 篠原裕子、尾林聰、久保田俊郎： 当院における骨代謝治療と QOL、第 7 回女性 骨・代謝研究会 於) パレスホテル 2 階「チェリールーム」 2007/11/29 #2
40. 久保田俊郎： 更年期閉経期における子宮内膜症の取り扱いについて、獨協医科大学 (栃木健康延期研究会代行世話人)、於) 栃木総合文化センター、第一会議室、

2007/12/07

41. 石川智則、田島麻記子、原田竜也、吉木尚之、清水康史、久保田俊郎： 子宮腺筋症と不妊症の関連についての検討 第 11 回産婦人科臨床フォーラム、於)山の上ホテル
2007/12/14 # 1
42. 福岡真弓、山本篤、津堅美貴子、若林晶、久保田俊郎： 非典型的な画像を示した immature teratoma の 1 例 第 344 回日本産科婦人科学会、東京地方部会例会 於) 東医健保会館 2007/12/15